



ビデオカメラをのぞき込み、映像をチェックする長船班の中学生たち

ふるさとの魅力伝えたい

中学生がCMづくり

新しい瀬戸内市の魅力をインターネットを通じて世界中にPRしたい。
CM作りを通してみんな仲良くなり、
旧町の垣根を取り除き魅力ある一体感のあるまちづくりの手助けをしたい。
市内の中学生32人ら地域CM製作実行委員会が
地域CM作りに取り組み、このほど完成しました。
構想を練り、撮影に走り回り、知恵を出し合い編集。
今日は、そんな彼らの取り組みを紹介します。

市内の魅力探しスタート お薦めスポットで埋まった地図

昨 年12月11日、邑久町公民館に中学生有志30人が集まり、瀬戸内市の魅力を市の内外に紹介するCMをみんなで考えました。

ま ずは瀬戸内市の魅力探しからスタート。オススメカードに市内で自分

分が人に薦めたいところ（場所・景色・人・音・食べ物・イベントなど）を書いて発表。地図に張り付けていきました。

自分の周りにこんなたくさんのお薦めの場所があるのかと驚いた」と言います。その後、グループに分かれて自分たちの薦めたいものを

班ごとに撮影開始 悪戦苦闘の撮影現場

長 船中2年の大河原真紀さんは、「地図がみんなの意見でいっぱいになり、

12月18日、3班に分かれて撮影を開始しました。撮影内容は、牛窓班が牛窓中学校・オリーブ園

どのようで紹介するかを検討し、発表しました。撮影に臨む次回までにCMの絵コンテを考えてくることにし、この日は解散。

した。撮影内容は、牛窓班が牛窓中学校・オリーブ園

撮 影するものは決まっても、どのシーンをどう撮影するかを決めるのは、簡単なことではありません。撮影後、「アイデアを出すのが難しく、大変だった」と邑久中2年の赤石麻実さん。「知らない人に伝えるのは難しいと思った」と邑久中3年の赤枝佑香さんは振り返りました。

牛 窓班の5人は、瀬戸内のおいしい食べ物や、オリーブ園から見える美しい景色を紹介しようと考えました。慣れないデジタルビデオカメラで、オリーブ園からの美しい景色、牛窓海水浴場などを次々に撮影。撮影を終えたころには陽も落ちていました。

邑 久班は、夢二の生家と遊歩道、門田貝塚を撮影。役割分担はすんな



CM作りのため集まった中学生有志たちは、市内の魅力探しからスタート



オリーブの木をバックに、搾りたての牛乳で作った牛窓ジェラートをほおぼる牛窓班



夢二生家を紹介する邑久班